

令和2年7月22日

九州ボールルームダンス連盟  
会長 伊藤武彦

「令和2年7月豪雨災害」のお見舞及び新型コロナウイルス感染症禍に際して

皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

冒頭、新型コロナウイルス感染症(C o v i d -19)禍の中、熊本県を中心に九州及び中部地方に発生した記録的な集中豪雨による「令和2年7月豪雨災害」により被災されました皆様方やご家族また関係者の皆様には、心からお見舞い申し上げます。

また、新型コロナ対策として、今年4月に政府より「緊急事態宣言」が発出され、J B D F本部と九州ボールルームダンス連盟は、感染拡大の状況と諸般の事情を勘案し、断腸の想いで競技会や会議の中止、延期、変更などと自粛のお願いを余儀なくされました。

そのため、本連盟役員や会員の皆様そして競技会を心待ちにされていた選手や競技会のご観覧を予定されていた皆様など、全ての皆様が失意の日々と不自由な日常を過ごされて来ているものをご推察致します。

さて、現下のわが国での感染状況を俯瞰してみますと、第2波とも思えるような感染が全国各地で発生していて、まだまだ収束の光が見えない状況が続いており、誰もが安心安全な気持ちを持ってコロナ前の日常生活を過ごす環境には至っておりません。

本連盟と致しましては、今後とも新型コロナと共生するウイズ・コロナの環境下で、クラスター(感染者集団)の発生を回避し、多くの皆様が満足出来る競技会や会議を開催出来る日が一日でも早く来るように、熟考に熟考を重ねて行く所存であります。

競技会などが再開される際には、是非とも多くの皆様のご参加を頂き、お互いが満面の笑顔を持って、お会い出来ることを楽しみに、「貴方と貴方の大切な人の生命を守るために」、「密集・密閉・密接」の三密を守りながら、新しいライフスタイルを探求して行きましょう。

また現在、J B D Fとしても新しいライフスタイルを模索中で、かつては全国に居住する常任理事が本部に於いて常任理事会を開催していましたが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に、リモート(遠隔)でのオンライン会議を実施致しました。

本連盟と致しましても、競技会の開催につきましては、J B D F石原久嗣専務理事による「競技会等のイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(2020年7月3日付けHP掲載)を基本に、諸般の事情を考慮し、可能な限り遅滞なく開催出来ることを願っています。

今後とも、公益財団法人J B D F加盟九州ボールルーム連盟は、本連盟と関係する全ての皆様が、暴雨災害やコロナ禍などの複合災害などに打ち克ち、いつまでも共に繋がって行けるように鋭意努力して行きます。

最後に、J B D FのホームページでJ B D F稲川素子会長の挨拶が配信されていますので、ご視聴ください。